

学 校 概 要

明治29年6月26日創立、今年度119年。校長：池田 勉/副校長：青木 和裕。
一般学級14学級・個別支援学級3学級。児童数 432名。都田中学校ブロック。

学 校 教 育 目 標

はばたけ都田の子 ～元気・勇気・本気～

- 学ぶ楽しさを知り、共に高めあう子を育てます。(知)
- 自分も友だちも大好きな、あたたかい子を育てます。(徳) (公) (開)
- 心と体を鍛え、健やかな子を育てます。(体)

学 校 経 営 中 期 目 標

- 全教職員が学校経営に参加する意識を高くもち、学校教育目標実現に向け、愛される学校づくりを推進します。
- 一人ひとり子どもが、学ぶ・できる楽しさを実感できる授業づくりを推進し、学力の向上を目指します。
- 児童が思いやりをもち、互いのよさを認め合える「誰にも優しい学校」づくりを目指します。
- 小中一貫教育推進ブロックや家庭・地域と連携し、地域に根ざした学校づくりを推進します。

学校経営
中期目標
設定理由

児童指導における課題および事案が多い本校にあつて、解決のスキルを向上させることに重点をおいていた取組から、児童の自治能力を育成し、事案の未然防止を目指してきた。次は、学習指導を通じて、児童の「学校をよくしていこう」とする力を育成していきたい。そのために、全職員が、共通理解のもと学校経営に参加している意識をもち、保護者・地域と協力して、教育活動に取り組んでいく必要がある。

小 中 一 貫 教 育 推 進 ブ ロ ッ ク 目 標

共通目標
自校の取組

都田中ブロック小中一貫スローガン 「学び合い、思いやりと自信をもって未来を切り拓く子どもを育てます。」
都田に中ブロックで作成した9年間のカリキュラムを基に、目指す子ども像(スローガン)の育成に向けて、地域との連携を図りながら、それぞれの学校の課題解決を目指した取組ができるようにする。
教職員が連携して、義務教育9年間の前6年間の子どもの成長に責任をもち、安心して進学ができるように、中学校へつなげていく。基本的な生活習慣を身につけ、地域の一人として役に立っている有用感を育て、学習に対して積極的な姿勢となるようにしていく。

共 通 取 組 内 容

1 確かな学力	2 豊かな心	3 健やかな体
○言語活動の充実を通して、主体的な学びのある授業を行い、学習の基礎となる「話す力」「書く力」「聞く力」などの基礎的・基本的な学力を育成します。 ○作成したカリキュラムをもとに朝の「はばたけタイム」に取り組みます。6年間の積み重ねや学習との関連をより明確にし、学習の基礎基本の定着を図ります。	○地域力を生かした学習を展開したり、地域行事への参加で、様々な大人とふれ合えることを通して、目上の人を尊敬する気持ちを育成します。 ○誰に対しても優しい心でかかわることを育成することを目指し、道徳や学活の時間を積極的に活用します。	○「早寝・早起き」「朝食の励行」について、家庭と連携して行います。 ○「なわとび運動」を通して、体力の向上を図ります。

重 点 取 組 分 野

4 教育課程・学習指導	5 児童・生徒指導	6保護者・地域住民との連携	7 特別支援教育
○小中一貫カリキュラムを基に、補充・基礎・発展を取り入れた授業の実践を適切に行い、児童の授業アンケートをもとに、授業改善を行っていきます。 ○個に応じた学習指導を行い、学力の向上が子どもに実感できるようにします。	○子ども自身の自治能力を高め、活躍の場を増やして、リーダーの育成をします。 ○児童支援専任の役割を明確にし、全職員で組織的な児童指導を行います。 ○都田小学校の約束・きまりを毎年検証し、幼・保や中学校と連携した児童指導を行います。	○地域にある自然や歴史を教材とした学習を推進しながら、地域の大人とふれ合える機会を設定し、児童が地域の中で何ができるかを考え、行動できるように、地域と連携していきます。 ○保護者のボランティア活動を増やします。 ○職員が進んで地域行事に参加し、地域の学校評価を受け止めます。	○外部講師を招いた研修や、特別支援学校等との連携で、職員の特別支援教育に対する理解力及び応用力を育成します。 ○特別支援コーディネーターと連携し、個に応じた支援の計画を、保護者と共有しながら推進します。
8 人材育成・組織運営			
○学校の特色を全教職員が理解し、共通して支援・指導に取り組めるようにします。 ○各部の部長を中心とした校内指導体制を確立し、リーダーの育成に努めます。 ○教育専門職としての意識を高めるため、講師を招いた研修を実施します。 ○全ての教員が年1回以上授業を公開し、全員で授業研究を行います。 ○授業改善支援センターの活用、授業づくり講座への積極的な参加を推進していきます。			

